

企業等による教育支援活動に関する学校対象アンケート調査 [2019年]

- 調査対象 全国の小学校・中学校・高校の教員
- 調査期間 2019年5月末～6月末
- 回答者数 104名

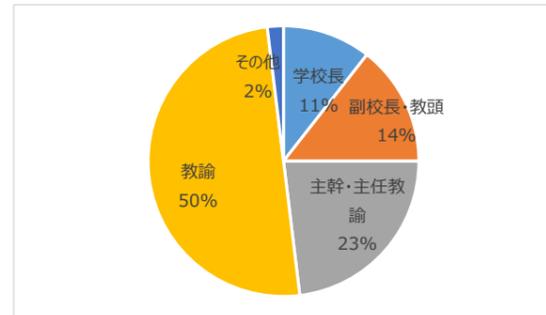
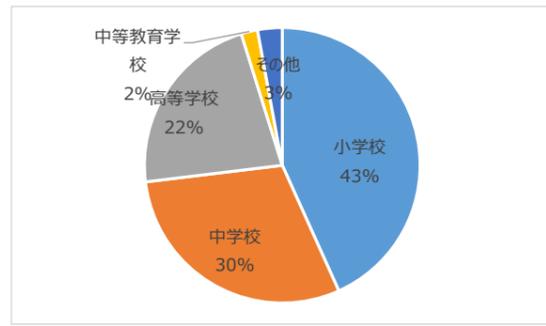
Q1 まず、学校区分とご回答者の職位についてお尋ねします。

A. 学校区分

		回答数	割合
1	小学校	45	43%
2	中学校	31	30%
3	高等学校	23	22%
4	中等教育学校	2	2%
5	その他	3	3%
	合計	104	100%

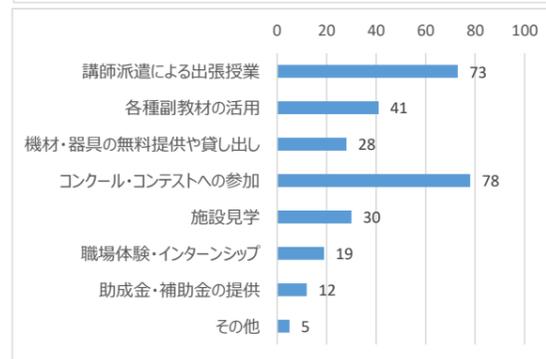
B. ご回答者の職位

		回答数	割合
1	学校長	11	11%
2	副校長・教頭	15	14%
3	主幹・主任教諭	24	23%
4	教諭	52	50%
5	その他	2	2%
	合計	104	100%



Q2 貴校では、学校以外の機関(企業、団体、NPO等)が行っている学校教育支援活動を、授業や様々な教育活動の中で受け入れたことがありますか。次の中から平成30年度と今年度に受け入れた(または受け入れ予定のもの)があればすべて選んでください。

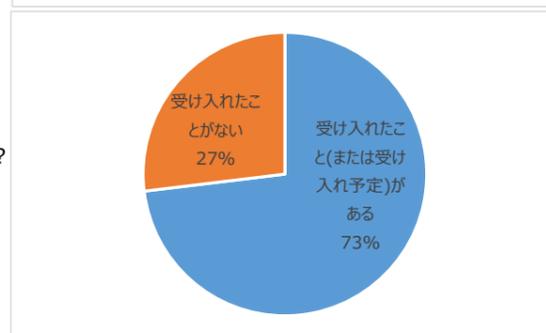
		回答数	割合
1	講師派遣による出張授業	73	70%
2	各種副教材の活用	41	39%
3	機材・器具の無料提供や貸し出し	28	27%
4	コンクール・コンテストへの参加	78	75%
5	施設見学	30	29%
6	職場体験・インターンシップ	19	18%
7	助成金・補助金の提供	12	12%
8	その他	5	5%



Q3 学校以外の機関が行う学校教育支援活動のうち、企業・団体が行う「講師派遣による出張授業」の受け入れについてお尋ねします。

(1) 貴校では、平成30年度と今年度に企業・団体が行う「講師派遣による出張授業」を受け入れたこと(または予定)がありますか？

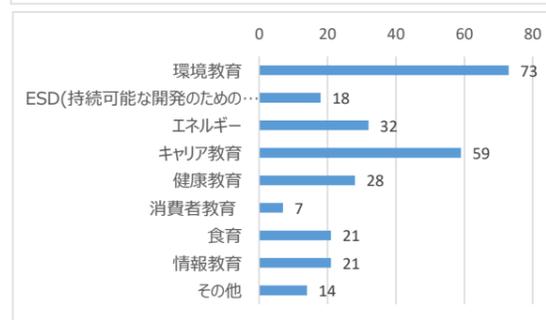
		回答数	割合
1	受け入れたこと(または受け入れ予定)がある	76	73%
2	受け入れたことがない	28	27%
	合計	104	100%



(2) 上記(1)で「1.受け入れたこと(または受け入れ予定)がある」と回答した学校に伺います。受け入れた事例について、項目ごとにあてはまるものをすべて選んでください。

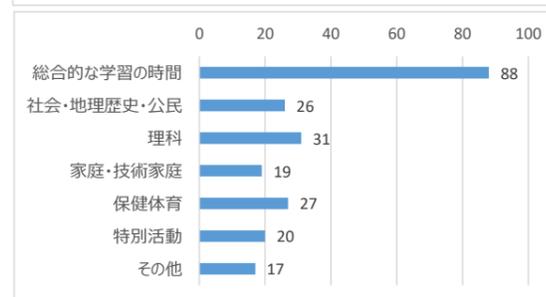
A. テーマ

		回答数
1	環境教育	73
2	ESD(持続可能な開発のための教育)	18
3	エネルギー	32
4	キャリア教育	59
5	健康教育	28
6	消費者教育	7
7	食育	21
8	情報教育	21
9	その他	14



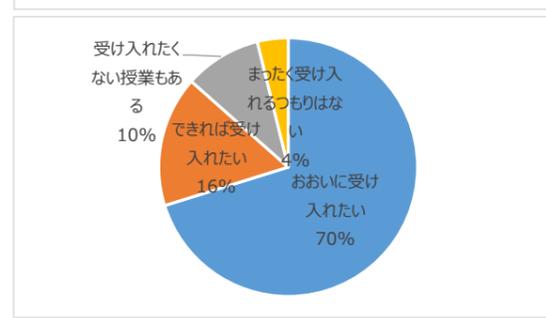
B. 実施した時間・教科等

		回答数
1	総合的な学習の時間	88
2	社会・地理歴史・公民	26
3	理科	31
4	家庭・技術家庭	19
5	保健体育	27
6	特別活動	20
7	その他	17



(3) これまでに受け入れた企業・団体の「講師派遣による出張授業」を、今後も受け入れたいと思いますか。

		回答数	割合
1	おおいに受け入れたい	73	70%
2	できれば受け入れたい	17	16%
3	受け入れたくない授業もある	10	10%
4	まったく受け入れるつもりはない	4	4%
	合計	104	100%



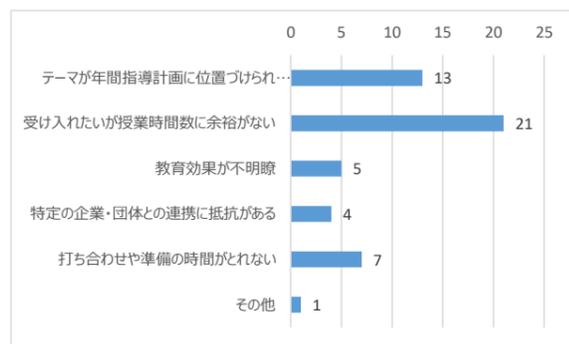
(4) 上記(3)で「3.受け入れたくない授業もある」または「4.まったく受け入れるつもりはない」と回答した学校に伺います。その主な理由は何ですか。(2つ以内)

		回答数	割合
1	授業内容が対象とする児童・生徒のレベルに合っていなかった	10	71%
2	内容が一般的で魅力がなかった	8	57%
3	体験的な要素が少なかった	5	36%
4	企業・団体の宣伝色が強かった	5	36%
5	事前の打ち合わせや準備が煩雑だった	2	14%
6	その他	0	0%



(5) 上記(1)で「2.受け入れたことがない」と回答した学校に伺います。その主な理由は何ですか。(2つ以内)

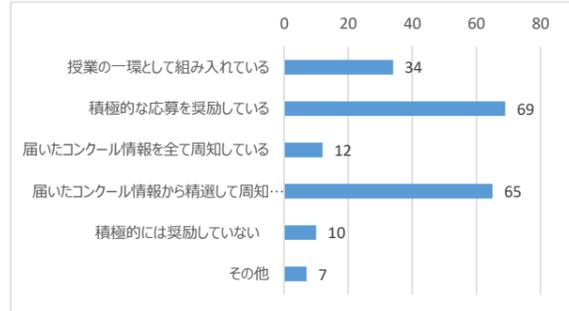
		回答数	割合
1	テーマが年間指導計画に位置づけられていない	13	46%
2	受け入れたいが授業時間数に余裕がない	21	75%
3	教育効果が不明瞭	5	18%
4	特定の企業・団体との連携に抵抗がある	4	14%
5	打ち合わせや準備の時間がとれない	7	25%
6	その他	1	4%



Q4 企業・団体が行う「児童・生徒向けコンクール・コンテスト」についてお尋ねします。

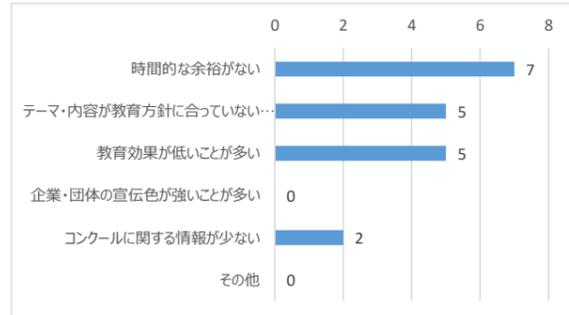
(1) 貴校では児童・生徒に対し、こうしたコンクールへの応募を奨励していますか。(複数回答可)

		回答数	割合
1	授業の一環として組み込んでいる	34	33%
2	積極的な応募を奨励している	69	66%
3	届いたコンクール情報を全て周知している	12	12%
4	届いたコンクール情報から精選して周知している	65	63%
5	積極的には奨励していない	10	10%
6	その他	7	7%



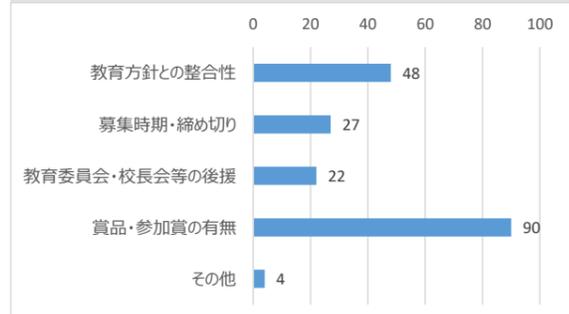
(2) 上記(1)で「5.積極的には奨励していない」と回答した学校に伺います。その主な理由は何ですか。(2つ以内)

		回答数	割合
1	時間的な余裕がない	7	70%
2	テーマ・内容が教育方針に合っていないことが多い	5	50%
3	教育効果が低いことが多い	5	50%
4	企業・団体の宣伝色が強いことが多い	0	0%
5	コンクールに関する情報が少ない	2	20%
6	その他	0	0%



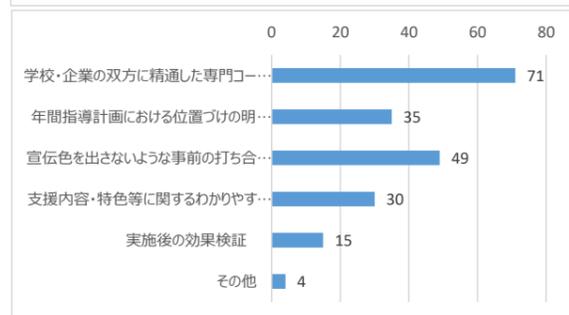
(3) 貴校では、コンクールを児童・生徒に薦める際に最も重視するポイントは何ですか。(2つ以内)

		回答数	割合
1	教育方針との整合性	48	46%
2	募集時期・締め切り	27	26%
3	教育委員会・校長会等の後援	22	21%
4	賞品・参加賞の有無	90	87%
5	その他	4	4%



Q5 企業・団体が行う教育支援活動を学校の教育活動の中でより効果的に活用するために、特に重要なことは何ですか。(2つ以内)

		回答数	割合
1	学校・企業の双方に精通した専門コーディネーターによる調整	71	68%
2	年間指導計画における位置づけの明確化	35	34%
3	宣伝色を出さないような事前の打ち合わせによる合意	49	47%
4	支援内容・特色等に関するわかりやすい情報提供	30	29%
5	実施後の効果検証	15	14%
6	その他	4	4%



Q6 企業・団体による学校教育支援活動についてのご要望やご意見等があれば、下欄に具体的にお書きください。

- ・企業団体による教育支援活動は今後ますますニーズが高まります。例えば様々な企業で取り組むSDGsの内容は総合的な探究の時間で、扱いたいもののひとつです。
- ・作品募集には積極的に参加したいと考えていますが、夏休みや冬休み前に締め切りになるものがあります。子どもたちにチャレンジさせるには夏休みや冬休みがいちばん良いように思います。
- ・企業団体に、講師派遣授業に協力してもらいたのですが、本校の条件に合うものがなかなか見つからない。企業団体本位ではなく、学校本位に考えてもらえるとう助かります。
- ・教員はいつも忙しいので、講師派遣授業は大歓迎だが、教員の負担にならないよう運営に工夫していただきたい(※校長)
- ・いつも良い情報、良い教材などをご提供いただきありがとうございます。講師派遣授業について、テーマ別に外部講師一覧のようなものがあればよいと思います。
- ・企業団体による教育支援活動の上手な受け入れについて、教員向けの研修会やセミナーなどを開催できないか。たくさんの先生方が集まると思う。
- ・コンクールでは、参加賞があるものを児童に薦めます。“○○がもらえるよ”という呼びかけがいちばん効果的です。それと賞の数が多く、入賞のチャンスが多そうなものを要望します。
- ・健康教育や防災教育に関する教育支援をしていただけたらありがたい。
- ・副教材を編集する際、または出前授業のプログラム作りの際には、学習指導要領の内容を踏まえるようにしてもらいたい。また現場の教員の意見をリサーチすれば、より使いやすいものができると思う。
- ・学校が企業団体からの講師派遣に期待することは、「子どもたちに、多面的・多角的な見方や考え方を身につけさせたい」というところにあります。その意味でも、子どもたちの心を揺さぶるような、リアルな体験などを伝えてほしいと思います。
- ・出張授業では、教師ではできない実社会で働く人の声を伝えてほしいと願っています。学校での勉強・活動と実際の仕事のつながりや、海外赴任体験など、自分の今が未来につながることを意識させるようなお話を聞けるのは、大変貴重な機会だと感じています。
- ・ポートフォリオ作成にあたり、興味のあるコンテストに主体的に取り組むよう指導しています。